

りす俱樂部

2023年
9月号
第314号



桃

なるほど、暑さ寒さも彼岸まで。気が付けば、朝夕のそこかしこに、秋の入口の涼しさが漂う。時節の移ろいに、一抹の寂しさもあるが、振り返ると、甘味優しい「桃」のお陰で、猛暑をしのげた日々がある。ささやかながら、夏の日思い出になった。

弁護士 福井大海

「お困りごとは一人で抱え込まないこと」
が問題解決の早道です

株式会社ジェイ・サポート代表取締役
社会保険労務士原令子事務所 所長 原 令子

平穏な日常生活の中にまさかと思
うような事態が急に訪れ、他人事だ
と思っていた「老々介護の共倒れ」
の危惧が現実のものとなりました。

それは訪れてほしくないお客様第
1号のコロナの急襲でした。まず私
が陽性の烙印を、そして一番恐れて
いた93歳の母への感染が翌日判明し
ました。

母のことばかり心配していた私
は、自分自身が脱水状態となってい
たことにも気づかず、母のために要
請した救急車の隊員さんから「貴方
の方が重症ですよ」と警告される有
様でした。二人揃って市民病院に搬
送され、隣同士のベッドで仲良く点
滴を受けながら、まずは一息つくこ
とができました。

私は数日40度近い発熱がありまし
たが、事なきを得て全快し、今は元
気に過ごしております。

母は高齢のためか、咳とめまい、
倦怠感が治まらず、訪問看護のサー

ビスを利用して自宅で1週間点滴な
どの治療を受けました。今は、倦怠
感はあるものの、めまいと咳は治
まったので、徐々に食欲も出てきて
います。

母のような高齢者にとっては、病
院に向くことや診察までの長い待
ち時間などは、非常に大きな負担と
なります。母が今まで利用していた
クリニックは外来のみの対応だった
ので、この際、往診や訪問診療をお
願いできるところを探そうと思い、
ケアマネジャーさんに訪問診療が可
能なところをいくつか提示してもら
いました。

初回は診察を受けに出向きまし
た。明るく話しやすい先生で、心強
く思いました。翌日からは、看護師
さんが来訪して母の容態を確認し、
先生との連携のもと、点滴や服薬の
アドバイス、体のケアなどをしてく
ださったので、それまでの不安感が
すっかり消え去りました。

来てほしくない客人のコロナさんでしたが、コロナをきっかけに、経験したことのない訪問診療や訪問看護等の医療サービスがどのようなものかを実体験することができました。看護師さんから「何かあったら連絡してください。24時間連絡が取れますからね」と言われ、安心して母を見守ることができました。

介護や医療にいろいろなサービスがあることを知ってはいても、具体的に現在の状況をどのようなサービスでサポートしてもらえるのかの判断はつきかねますね。

私と母が、日常を取り戻せたのは、ケアマネジャーさん、お医者さん、看護師さんなど周りの支えがあったからです。一人では、乗り切れなかったと思います。どんなに注意をしてもどこからともなく忍び寄るウイルスに出くわすことがあります。そんな時は、りすシステムのパートナーを介して、ケアマネジャーさん、お医者さん、看護師さんなどの手を借りて、乗り越えていきましょう。

「**お困りごとは一人で抱え込まないこと**」が問題解決への早道です。

公的年金のやさしいお話⑬ 「65歳からの年金額の増やし方」



株式会社ジエイ・サポート代表取締役
社会保険労務士原令子事務所 所長

原 令子

さて、菌況報告……いえ近況報告が長くなりましたが、今回は「**65歳からの年金額の増やし方**」についてご紹介いたします。

きしても妙案はないのかもしれませんが、**65歳以降の年金額を増やす方法はあるのでしょうか？ あれば教えてください。**

回答①

質問① 私は来年65歳になります。今まで厚生年金

に加入して働いてきました。65歳からの年金額

は、思っていたほどではなく、今後どうすれば

よいのか悩んでいます。今更こんなことをお聞

65歳以降の年金額を増やすということだけに限るなら次の2つがあります。

① 厚生年金に加入して働いて年金額を増やす

② 同時に年金は繰り下げる

これらの場合に気を付けておくべきことは、

ほぼ繰り下げに関連することで、働くことには何もリスクはありません。なお、繰り下げに関しては、次のような注意点があります。

- ・損益分岐点までの余命のリスク（自分の予想より早く寿命に到達した場合は、結果的に繰り下げない方が年金の総受給額が多くなること）
- ・家族手当である加給年金額・振替加算額が、繰り下げ待機中には支給停止となる

令和4年4月から、在職中であっても年金額を毎年10月分から改定する制度が導入されたが、定時改定分は繰り下げ請求をするときまで受給できない

年金額も増えるが、税や社会保険上の負担も増える

質問②

働きながら年金を受け取ると、老齢厚生年金の一部または全部が在職老齢年金の仕組みにより支給停止されることがありますよね。報酬が高いと年金が全額支給停止となって年金の繰り下げができなくなることもあります。やはり在職老齢年金のしくみにより、停止にならない範囲の報酬で働いた方がよいのでしょうか？

回答②

働きながら年金を受け取ると、65歳前に支給される特別支給の老齢厚生年金や、65歳以降に

(注1) 在職老齢に影響のない報酬とは・・・①となります
 (老齢厚生年金X1/2+給与月額+過去1年のボーナスX1/2) - 48万円 = Aとする
 ① A ≤ 48万円の場合 → 年金は全額支給される
 ② A > 48万円の場合 → 年金支給停止の月額 (A - 48万円) X 1/2

支給される老齢厚生年金の一部または全部が支給停止されることがあります。これを在職老齢年金と言います、このしくみで年金が支給停止になると支給停止された部分は、繰り下げることができなくなります。
 在職老齢年金に影響のない報酬(注1)で働く場合は、老齢厚生年金の繰り下げには、何も

影響はありません。しかし、繰り下げて年金を増やすことだけに視点を置くと、停止のかわらない範囲の報酬で働くこととなります。そこで、報酬を含めて、どのような働き方が最も年金を増やせるのかを図表1にシミュレーションしてみました。
 図表1の①は、報酬は低けれども年金全額を繰り下げることができるパターン、②は、報酬は①と②の間で年金の一部を繰り下げることができるパターン、③は報酬が高いため年金が全額支給停止となり、繰り下げが

できないパターンです。

その結果は次のようになりました。

【①②③の比較の結果】

↓ ①繰り下げた場合の年金額と③繰り下げられなかった年金の差は50万4000円ですが、「5年間の給与の差」は1200万円にのびります。
 つまり、年金の支給停止を恐れて、停止されない範囲の報酬で働くことは、意味のないことで、**できるだけ高い報酬で働く方が有利になります。**

↓ さらに、①と③は報酬月額に20万円の差があり、5年間働くことで20万円×0.5%×60か月＝6万円増額します。

↓ また、①と②は報酬月額に10万円の差があり、5年間働くことで10万円×0.5%×60か月＝3万円増額します。

▶まとめ▶

年金の一部または全部に、在職老齢のしくみによる停止がかかると、支給停止部分は繰り下げて増やすことはできません。しかし、報酬を含めたトータル収入を見ると、年金の一部または全部が繰り下げることが出来なくても、**できるだけ高い報酬で働く方が有利になります。**

図表1 5年間繰り下げた場合の年金額の計算

	報酬額 (月額)	在職老齢年金額	5年間 給与差	5年繰り下げた 場合の年金額
①	38万円	(10万 + 38万 - 48万) = (全額支給)	0円	(※1) 14.2万円
②	48万円	(10万 + 48万 - 48万) X 1/2 = 5万 (一部支給)	600万円	(※2) 12.1万円
③	58万円	(10万 + 48万 - 58万) X 1/2 = 10万 (一部支給)	1200万円	(※3) 10.0万円

(※1) 繰下げ加算額 120万円X0.42 = 50万4,000円/繰下げ後の年金額170万円4,000円 (月額14.2万円)

(※2) 繰下げ加算額 60万円X0.42 = 25万2,000円/繰下げ後の年金額145万円2,000円 (月額12.1万円)

(※3) 全額停止で繰下げ加算なし (月額10万円)

牧野富太郎と小石川植物園

宇都宮大学名誉教授

谷本 丈夫

小石川植物園の歴史

小石川植物園は東京大学によって開設された施設ではありません。江戸時代に盛んになった薬になる植物（薬草）を育てる目的で、寛永15（1638）年、麻布と大塚に南北の薬園が設置され、のちに大塚の薬園は廃止、貞享元（1684）年、麻布の御薬園を5代將軍徳川綱吉の小石川別邸の一部に移設した。その後、8代將軍徳川吉宗の時代に別邸全域が薬園として使われるようになりました。享保7（1722）年目安箱に投函された江戸の貧病人救済の「施薬院」設置が請願され、山本周五郎の『赤ひげ診療譚』の舞台となった小石川養生所もつくられています。

明治10（1877）年に東京帝国大学が開設され、同大学理科大学（現理学部）の附属施設となり、明治30（1897）年には本郷キャンパスにあった植物学教室が小石川植物園内に移転し、黎明期の植物学研究施設、牧野富太郎と

の出会いの場所となりました。なお、教室は昭和9（1934）年に本郷に再移転しています。

牧野富太郎植物学教室に出入りを許される

東京帝国大学理科大学が開設された7年後、明治17（1884）年、牧野富太郎二度目の上京の時、植物学教室への出入り、自由な研究を許されました。

この時の様子を「明治17（1984）年にごうもこんな佐川の山奥に居てはいけんと思ひ、学問をする為に東京に出る決心をした。そして二人の連と共に東京に出た。中略、同行の二人は学校へ入学したが、私は学校には入らずに居る中、東京の大学へ連れて行つてもらう機会がきた。東京の大学の植物学教室は当時俗に青長屋といわれていた。植物学教室には、松村任三・矢田部良吉・大久保三郎・の三人の先生が居た。この先生等は、四国の山奥からえらく植物に熱心な男が出て来たというわけで、非常に私を歓迎して呉れた。私の土佐の植物の話等は、皆面

白く思われたようだ。それで私には教室の本を見てもよい、植物の標品も見てもよしいというわけで、却々厚遇を受けた。私は暇があると植物学教室に行き、お陰で大分知識を得た。当時、三好学・岡村金太郎・池野成一郎・等はまだ学生だったが、私は彼等と親しく交際した。私は教室の先生達とも親しく行き来し、松村任三・石川千代松さんなどは、私の下宿を訪ねてくれたし、私も松村・大久保・両氏と共に矢田部さんの自宅に招かれてご馳走に預かったこともあった」と、記されています。しかし、6年後には教室への出入りを禁止されてしまいました。

大学職員・助手と講師の時代

牧野富太郎（1862～1957）は生涯で1500種類にのぼる植物を命名し、日本の植物学の父と呼ばれます。牧野富太郎が在籍した東京大学植物学教室は、明治30（1887）年から昭和9年までの37年間、小石川植物園にありました。在職中はほとんど小石川植物園の教室に勤務していたこととなります。牧野富太郎は独学で植物分類学を修め、明治17年には2回目の上京の時に東京大学で研究を許され、一時出入りを差し止められますが、明治26（1883）年助手、明治45（1912）年講師となり、永くその地位にとどまっています。

「彼が昇進しなかったことについて種々取り沙汰する者がいるが、教室の運営にかかわるよりは、研究に専念できて自他ともに良かったと思われる」とする意見もあるようです。

万年助手、万年講師を誇りにしていた様子が、随所に見られますが、いわゆる独学で切り開いた道とは言え、アカデミックな職場を得、その時代に生まれた運命の人でした。

破門草事件に見る学名の記載事情

牧野富太郎の自叙伝には研究の許しを得た喜びとその後葛藤も述べられています。その間で「破門草事件」が紹介されています。「明治19（1986）年頃は大学では植物を研究していたが未だ学名を付ける事はせず、ロシアの植物学者マキシモウイチ氏へ、標品を送って学名をきめてもらっていた。中略 その頃、「破門草事件」という事件があった。ことの真相を知っているのは今日では私一人であろう。それは矢田部良吉教授が戸隠山で採取した『とがくししようま』の標品を、マキシモウイチ氏に送った。ところがマキシモウイチ氏は、その植物を研究した所、新種であったので、これに矢田部さんに因んでヤタバア・ジャポニカという名前を付けた。それについても少し材料が欲しいから、標品を送るように手紙が教室にきた。この手紙のことを或時、教室の大久保さんが、

その頃よく教室に来た伊藤篤太郎君に話した。大久保さんは、伊藤の性質をよく知っているのだから、この手紙を見せるが、お前が先に名を付けたりしないという約束をした。ところがその後3カ月程経ってイギリスの植物雑誌のジャーナル・オブ・ボタニ誌上に同じ植物に関し伊藤が報告文を載せ『とがくししようま』にランザニア・ジャポニカなる学名を付して公表していた。これを見て矢田部・大久保両氏は大変怒り、伊藤篤太郎に対し教室出入りを禁じてしまった。この事から『とがくししようま』の事が『破門草』と呼ばれたわけである。私は、伊藤君は確かに徳義上よろしくなかったが、同情すべき点もあつたと思う。『とがくししようま』は矢田部氏が採集する前に、既に伊藤がこの植物を知っていて、ポドフィルム・ジャポニクムなる名を付し、それがロシアの雑誌に出ていた。だから彼にして見れば自分が研究した植物に『ヤタバア』などと名をつけられては面白くなかつたのだらうと思う」と、このように研究成果を先に発表されてしまうと、その苦勞は全て水の泡になってしまいます。葛藤もあつた小石川植物園ですが、江戸時代からの歴史とさまざまな保存育成されている植物は、何度訪れても飽きない新しい出会いのある素敵な場所です。

雪国に咲くトガクシショウマ

トガクシショウマ（トガクシソウ）はメギ科

の稀少な植物で深山、多雪地帯に生育する。個体数が少なく絶滅危惧種です。破門草の項で述べられているように長野県戸隠山で見つけられているので戸隠の名が付いています。開花期は雪消え直後で、その地域の積雪の状態によって雪消えの時期が異なるので開花時期も変化します。花の時期に訪れる人は多いが果実の写真は少ないです。花の写真は、尾瀬ヶ原、果実は戸隠山で撮影したものです。



トガクシショウマ（トガクシソウ）

花 撮影：尾瀬ヶ原

果実 撮影：戸隠山

三十路を迎える君へのメッセージ

生前契約30周年にあたって

りすシステム 創始者 松島如戒

りすシステムは、今年の10月1日で満30歳になる。君は12月に三十路を迎える。君が小学校に入った頃まで「りすの誕生日は10月で、私は同じ年の12月。私はりすの誕生日に追いつかない！」と泣いていた。（※「君」とは、私の5人の孫の中で最も気持ちを通じ合う、りすシステム代表の娘、「朋佳」のことです）

君は、母の歩（現在NPOりすシステム代表）のお腹の中にいるときから胎教として、生前契約を学んで産まれた。まさに生前契約の落とし兒のようなものだ。

そんな君が去る4月、元気な赤ちゃんを生んだ。子どもより、孫が可愛い、ひ孫は孫の何倍も可愛いと先輩たちから聞かされていたが、本当にひ孫は可愛い。今はこの児と会話ができるまで、命長らえたいという気持である。と同時に、今、生を得た幼な児の将来、この日本という国、否地球という星が22世紀の初頭どうなっているのか、どうなっているのか以前に、地球上でホモサピエンスが存在しているのか？ などと考えると、今生まれた児が哀れでならない。

46億年もの長きに亘って、宇宙空間で生き続け

ている地球という星が、そう簡単に消えることはないだろうが、地球という星に生存しているホモサピエンスなる生物の余命は、それほど長くない気がする。

そんな世界観を持っている君のじーじが、君とひ孫への遺書という形をとって、生前契約（30年）功徳院、すがも平和霊苑（35年）、もやいの会（33年）を創造し、運営して、またじーじの後半の人生の中で学んだこと考えていることを、書き残したい。公的なりす倶楽部の誌面で私的なことを書き綴るのは、如何なものかという思いもある。しかし、このような形をとることでもかなり激しいことを書いても言い訳ができる。そんな思いで敢えて「遺書」とする。

『18歳の君へ』りす倶楽部2012年1月号2月号、『20歳の君へ』りす倶楽部2014年1月号では「遺言」としたが、遺言は法律用語で、死後の財産の贈与に関わることで、財産に関わりないことは、正しくは遺書というべきと考えて、本稿は「遺書」とした。

先の話に戻るけど、天皇の戦争責任にまで言及するこの原稿は、個人的な書簡として孫へのメッ

セージとすることが良いのではとアドバイスしてくれたのは、15年来、私の秘書役として支えてくれている芳賀みゆきさんだった。

余談だが、故川嶋辰彦学習院大学名誉教授ご自身から「君へのメッセージをコピーをして親しい人々に差し上げている」と以前に伺ったことがある。

これまた余談だが、歩と同じ年に生れた秋篠宮妃殿下のご結婚の際、お父上の川嶋先生は、嫁ぐ我が子への餞^{はなむけ}として尊敬されている磯村英一先生に「人権」の講話をお願いしたと、川嶋先生から以前に伺ったこともある。

じーじも、川嶋先生と同じようなことを考え、磯村先生は既にお亡くなりになっておられるので、尊敬する「人権」を至上命題として学者の道を歩んでこられた川嶋先生に、君が嫁ぐにあたってじーじからの餞に「人の生き方と人権」というテーマで講話をお願いしていた。川嶋先生はいつもの口調で「僕で良ければ喜んで」とお引き受け下さっていた。しかし、川嶋先生はそのお約束を果たしていただく前に黄泉の国へと旅立たれた。川嶋先生の訃報に接した瞬間頭をよぎったのは、君への講話の約束を果たさずに！ という思いだったが、死者がよみがえることはない。代理はじーじしかない。

じーじに磯村英一先生や川嶋辰彦先生にかわる講話ができることはないが、じーじの残された人生を懸けて「人権と平和」「利他と謙虚な生き方」

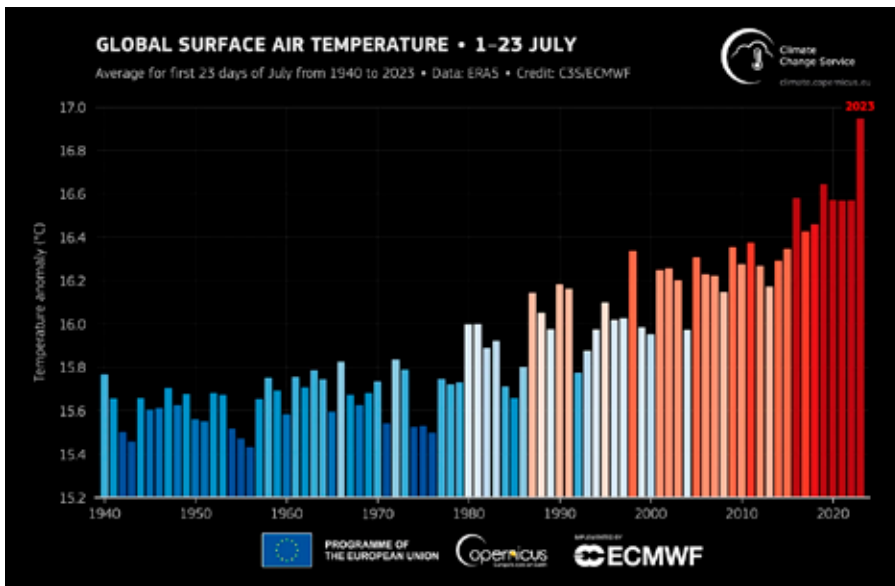
「創造力の涵養」「共生と多様性の豊かさ」「格差と差別の怒りと排除」、こんなテーマで綴っていききたい。じーじの講話は暮らしの中での語りになると思う。この号のお話はプロログとして読んでほしい。そして、本誌読者の皆様にも、大変烏滸がましいお願いですが、生前契約とは単なる社会サービスの提供ではなく、私たちは人権を希求の発露であることを、わずかでもご理解賜りたく切にお願い致します。

1. 地球沸騰化が本当に現実のものになったら

沸騰とは、広辞苑によれば「煮えたつこと」とある。本当に地球が煮えたぎるような状態になったら、少なくとも人は生存できない。もちろん地球という星そのものが煮えたぎる状態になるか否かは定かでないが……。この警告が現実になるということがあつてはならない。グテーレス国連事務総長は言いつばなしではなく、同じ会見でこんなことも言っている。

人類が破壊を解き放つたという証拠はいたるところにあるが、それは絶望ではなく行動を引き起こすものでなくてはならない。最悪の事態はまだ食い止めることができる。しかし、そのためには燃えるように暑い年を、燃えるような野心の年に変えなければいけない。気候変動対策を今すぐ加速させるのです

次のグラフを見てほしい。2023年の夏（6月～9月）は本当に暑かった。このグラフを見る



世界の毎年7月1～23日の平均気温の推移（1940年以降）

年々上昇傾向にあるなか、2023年が突出して高い（データ：C3S/ECMWF）（出典：朝日新聞HP）

と世界中が暑かったのだ。今、この原稿を書いている9月下旬はホッとするくらい涼しい。暑さ寒さも彼岸までというが、この言い伝えはまだ残っているのか……。否、これは瞬間風速で暑さはUターンでまだまだ暑いという。そして、冬の寒さは厳しいとの長期予報も出ていて、人類は沸騰と飢餓の責め苦に苦しめられ、いずれ滅亡への道を

辿るのかな……。

インターネット上の世界は、多様な価値観をもつ人が様々な主張をするのは当たり前だが、技術士法という法律による「技術士」という資格をおもちの室中善博という人のこんな発言がある。

「グテーレス事務総長の『地球沸騰』は、多くの人に否定された」というタイトルで「地球沸騰発言は立場を弁えない発言として、多くの批判が集まっている」の書き出しで、著名人3人の発言を紹介している。

①気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の新議長として就任したジム・スキーン氏は「1・5℃の目標は存亡の危機ではない。1・5℃の気温上昇が人類の存亡を脅かすところのめかすのは良くない。地球の気温がこれだけ上昇しても、絶望したり、ショックに陥ったりするべきではない」と発言しており、気候変動の議論に対してバランスのとれたアプローチを求めている。

②米大統領候補であるビベック・ラマスワミ氏（共和党）は、気候変動アジェンダに異議を唱えている。バイオテクノロジー起業家であり、企業の社会的「正義」を告発する『Woke, Inc.: Inside Corporate America's Social Justice Scam』の著者でもあるラマスワミ氏は、「実際の気候変動よりも、出鱈目な気候変動政策のために多くの人々が死んでいる」と語っている。

③気候科学者マイク・ハルム氏は、人為起源の地球温暖化について主流派の見解を持つとされている。彼の新著『Climate Change isn't Everything』は、「気候主義」がどのようにして社会におけるマスター・シナリオとなり、すべてを非難するために使われているかについて論じている。

複雑な「気候」現象が単純化され、すべてを包含し、終末論的な表現がますます強まっている。それが、理性的な議論を拒む一方で、説得力のある感情的なマスター・ストーリーを形成している。

ロシアのウクライナ侵攻にはじまり山火事管理に至るまで、今日の世界が直面している多くの社会的、政治的、生態学的問題が、すぐに気候変動化され説明される。複雑な政治的および倫理的課題が非常に狭い枠組みで捉えられると、気候変動を阻止することが現代の最高の政治的課題であるかのように捉えられ、他のすべてがこの1つの目標に従属するものになってしまう。

ハルム氏によれば、これは社会にとって危険であり、全体主義的な反応につながるとして、気候緊急事態や気候終末の考え方を否定している。

朋佳いいかい、地球温暖化は随分昔から問題提起され、重要な課題であるというのが世界の常識だ。世界は約35年以前に「気候変動に関する政府

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）： Intergovernmental Panel on Climate Change）は、世界気象機関（WMO）及び国連環境計画（UNEP）により1988年に設立された政府間組織で、2021年8月現在、195の国と地域が参加しています。IPCCの目的は、各国政府の気候変動に関する政策に科学的な基礎を与えることです。世界中の科学者の協力の下、出版された文献（科学誌に掲載された論文等）に基づいて定期的に報告書を作成し、気候変動に関する最新の科学的知見の評価を提供しています。

間パネル（IPCC）」を設立し、2021年現在195ヶ国が参加している。

これで分かるように、IPCC設立の母体となっている世界気象機関が発表した「地球の沸騰化」警告に対し、身内からの批判もじーじには少々解せない。

しかし、発言の内容はグテーレス発言を「否定」といえない「絶望したり、ショックに陥るべきではない」つまり、先に引用した事務総長発言も「絶望ではなく、行動を引き起こすものでなければならぬ」と述べ、ジム・スキー発言を否定するものではない。

他の2人の発言にしても、投稿者のタイトルのように事務総長発言は多くの人に否定された……

という論説にはならないとじーじは思っている。朋はどうかな。何かを議論する際の引用資料の検証は難しいし、時間もかかるがそこは手抜きせずに取り組まなければならない。

2. 地球沸騰化と地球上の生きもの

46億年前に地球が誕生したとされている。40億年前には海が出現し、39億年前には原始生命が誕生。20億年前に大気の酸素は紫外線と反応しオゾン層ができた。これにより紫外線が遮られ、生物が陸に上がる環境が整えられた。9億年前、多細胞生物誕生。6億年前に酸素濃度が現在の基準に近づいた。5億年前カンブリア爆発で生物の多様化がおこり、突如として脊椎動物がでそった。2・5億年前には最古の哺乳類や恐竜が出現。6500万年前の白亜紀には、恐竜絶滅。同時期に霊長類が出現。700万年前には猿人が出現し、1500年くらい前にアフリカからユーラシア大陸の熱帯・温帯に拡散したらしい。約10万年前にホモサピエンスが誕生し、6万年前からアフリカを出て大陸への移動を開始した。1万年前に農耕や牧畜を始めた。18世紀半ばから19世紀にかけてイギリスで産業革命が起こり、工業化と大量生産、大量消費時代を迎えることになった。

こうしてじーじは、地球誕生から産業革命までの46億年を復習してみた。産業革命は、人類に福音をもたらした。しかしその代償として、失ったものも大きい。

それは地球温暖化というバケモノで、その温暖化で地球そのものが壊れるか否かの瀬戸際に立たされている。

地球沸騰が現実になり、ホモ・サピエンスの滅亡は因果応報とあきらめなければならぬ。しかしながら、地球沸騰化は地球上に生存するすべての生き物をも滅亡させることになる。

3. 地球上に存在する生き物はどのくらいか？

国立環境研究所が監修しているHP「環境展望台」によると「地球上には多様な生物が生息している。科学的には約175万種と言われているが、実際には300万種から1億1100万種が生存しているとの推計もされている」とある。

同じHPにはこんな論述もある。「種、属科、目、綱、門、界の階層で分類し、約125万種がデータベースに登録されている。2011年国連環境計画の世界自然保全モニタリングセンター、カナダのダルハウジー大学などの研究者らは、地球上の生物種数は、約870万」とする報告を発表した。

これまで生物種の推定数には、300万〜1億1100万種と大きな巾があったが、この度の研究報告で870万種のうち、動物が777万種、植物が29万8000種、菌類が61万1000種と推定された。また、650万種が陸上種で、220万種が海洋種と推定された。さらに、陸上種650万種の86%、海洋種の220万種の91%

が未知種とされた。

「ヒト」(人間)は陸上に生息する動物の1種ではない。その人間が、地球沸騰による地球滅亡の犯人であることを、今を生きる私たちは厳粛に受け止め、地球沸騰化を阻止しなければならない、2023年の今年に生を受けた君の兄、じーじのひ孫「サク」の生涯で地球沸騰などという悲劇を現実のものにすることは、断じて許されない、とじーじは強く強く思っている。

4. 温暖化の要因の温室効果ガスは増え続けている

グアテマラ国連事務総長の地球沸騰化への警告は、与太ばなしなのか現実味のあるものか。じーじは与太ばなし(笑)ばなし)で終わることを願うけれど、現実味のあるものとして地球市民一人一人で真剣に考えなければならないと思っている。

1997年に京都で開催された会議で「京都議定書」が採択された3年後の2000年の全世界の温室効果ガスの排出量は230億トン。2009年は290億トン。2020年は約314億トン。20年間で1.37倍に増えている。2000年の排出量の最も多いのはアメリカで、24.4%。中国は12.1%、インドは4.7%。2009年には、トップは中国の24%、アメリカは18%、インドは5%。さらに直近の2020年には、中国32.1%、アメリカ13.6%、インド6.6%となっている。上記の数字の出典はそれ

ぞれ異なるが大筋は想像できる。

このような状況に対して世界の人と地球を守る役割を担っている国連のトップにしてみれば、居ても立っても居られない心情を吐露したもので、今日の世界の国のリーダーの政治手法が続くならば、地球滅亡は現実になる確率が高くなったと思う。

5. 地球市民の一員として、私たちには何ができるかの問いから地球に恩返し森づくりプロジェクトを立ち上げた

1993年10月創立のりすシステムの10周年記念事業として、将来へ向けての行動計画を掲げることにして「生前契約十年の検証と展望」という記念誌を発行し、じーじは、「生前契約十年のあゆみ、そしてこれから」というタイトルで、10ページにわたる一文を寄稿した。

その文章でaからjまで9項目の提案を綴ったその8番目「(i)地球にやさしい葬法研究基金の創設」という目的を掲げた。



地球市民の一員として空論でなく現実は何ができるかを考えた結果、「人は必ず死ぬ。死ねばほぼ全員が火葬場で火葬に付す。遺体を焼却するのだが当然CO2を排出する。このCO2の排出削減ができないのか模索した結果、棺の素材をベニア製のものからクラフトにするとかなりの削減ができる」ことがわかった。

ヒントは、1994年アメリカの西部地区の葬送事情の視察に際し、彼の国ではクラフト製の棺が一般に使用されていることを知り、わが国での実用化研究に着手した。

試行錯誤を重ねた結果、協力してくれる企業が現れ、その会社の中国の工場で作作してもらい、検討を行った。体重90kgという工場長が棺の中に入って皆で持ち上げたところ、強度は十分なことを確認した。仕上がりは、当時の中国の技術では、満足できるものではなかったが、兎にも角にも長年のトライが功を奏したのだから、ハーフコンテナといった120本ほどを輸入した。

棺を外国から輸入することの難しさを味わった。まず、船からおろして保税倉庫に移すのに横持ち運賃というのが必要。手数料などに出費が高んだ。この棺の在庫数十本は、千葉の倉庫に保管している。

じーじの目論見は外れだったのだ。が……茶色のクラフト地そのままなので、絵を張ったり、死者へのメッセージを関係者で書いて、手づくり葬の一つとして考えたのだが、人気がなかった。棺

の装飾作成を通夜の内容にというじーじの思いは通じなかったようだ。じーじが死んだら、君たちに良い思い出、嫌な思い出などで茶色の無地の素材をきれいに飾ってもらえとうれしい……。その後時代が変わり、国産でクラフト地に布などを張って高級感あふれる棺は生前契約、シンプル葬の標準仕様としている。

実は、ベニヤの棺の仕入れは、1万円以下だけど、クラフト製の仕入れは3〜4万円。死後事務の収支バランスを悪くしているが、人として生まれ死していくに際し、CO2削減に寄与できるという思い。これが、地球市民として「やると思えば必ずできる、地球に恩返しの実戦なのだ」CO2排出量の差など、次回以降で君に伝えることにしよう。

6. 大分・由布市の地球に恩返しの森づくり

森づくりは、10周年記念事業として発起したが、紆余曲折いろんな経緯を経て、森づくりの1部門に薬用樹木園がある。漢方薬の原料のことを「生薬」というのだけど、生薬には草、樹木、動物、鉱物など自然界のあらゆる物があり、それらを調査して漢方薬として製薬されている。神農本草経という書物には、365種類の生薬が記載されているが、木部といって樹木が約60種類記載されている。その木部の56種類を植栽した「薬用樹木園」が、この森の目玉となっている。

その他、サクラ、モミジなど鑑賞用樹木から、

オリーブも0.5ヘクタール栽培している。オリーブの苗作りにも成功し、いずれ由布地方の特産化をめざしている。

樹木としては、スギ、ヒノキはCO2の吸収効率が良いのだけど、木材価格の低迷、林業への人材不足などで手入れが行き届かない林がたくさんあるので「枝打ち十字軍」の結成なども考えている。

このネーミングは、1960年から1970年にかけて、当時富山県立技術短大（現富山県立大）の足立原先生が提唱して、山林に除草剤を散布せず、全国の学生に呼び掛けた「草刈り十字軍」運動にちなんだものだ。

地球に恩返しの森は、りすシステムだけでなく、もやいの会、すがも平和霊苑のメンバーなど多くの方の賛同による地球に恩返しの森基金への寄付で運営している。

ご寄付くださった方々のご芳名を表示する銘板の改装工事も来春には完成するし、広場では公園整備も済んでいるので、次の桜の時期には完成する予定なので、コロナの感染状況にもよるが大分への旅の企画も準備している。

朋佳、サクも満1歳になるので、大分の旅にいくといいな。じーじが大分に行けるのも、もしかすると最後になるかも知れない。

第1回の君への遺書はここまでにしよう。じーじの拙い人生経験だけど、86年を生きた中で、諸々を書き続けていくので、役に立ててほしい。

● 談話室のご案内 ●

◎参加費は無料です。定員数がありますのでご予約ください。
◎定員になり次第、締め切りさせていただきます

お待ちしております♪



北海道支部

10月6日(金) 11時～15時
11月6日(月) 11時～15時

会場：北海道支部事務所
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

北日本支部

10月30日(月) 11時～15時
11月30日(木) 11時～15時

会場：北日本支部事務所
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

東日本支部

11月15日(水) 13時～15時
11月28日(火) 13時～15時
12月15日(金) 10時～12時
12月15日(金) 13時～15時

定員：10名 会場：北の丸ガラスゲート
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

東東京ランチ

11月1日(水) 13時～15時
12月1日(金) 13時～15時

定員：4名 会場：葛西事務所
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

中部日本支部

10月10日(火) 13時～15時
11月10日(金) 13時～15時

会場：中部日本支部事務所
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

西日本支部

10月23日(月) 13時～15時 定員となりました
11月24日(金) 13時～15時

定員：10名 会場：西日本支部事務所
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

中国支部

11月4日(土) 12時30分～14時30分
12月2日(土) 12時30分～14時30分

会場：中国支部事務所
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

四国支部

10月25日(水) 13時～15時
11月25日(土) 13時～15時
12月25日(月) 13時～15時

会場：四国支部事務所
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

九州支部

10月29日(日) 13時～15時
11月29日(水) 13時～15時

会場：九州支部事務所
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

大分支部

10月25日(水) 13時～15時
11月22日(水) 13時～15時

会場：大分支部事務所
お茶、お菓子等を自由にご持参ください

お問い合わせ、お申込み先はこちら



0120-889-443



日本の世界農業遺産と生きる

Globally Important Agricultural Heritage Systems

地域未来研究所所長
立命館アジア太平洋大学教授

ヴァファダリ カゼム

地球に恩返しので森づくり事業部では、2009年より大分県由布市庄内町・地球に恩返しので森づくりを通して、環境活動や里山保全活動を続けています。今月は先月に引き続き、地域未来研究所所長ヴァファダリカゼム立命館アジア太平洋大学教授より、世界農業遺産（GIAHS）について教えていただくことにいたしました。

しお伝えします。

私は2008年に立命館アジア太平洋大学（APU）博士課程を修得後、国連大学の博士研究員及びGIAHS科学委員会メンバーとして石川県の能登半島でGIAHSの認定に向けて活動をしました。その後、大分県に戻り地元の方と交流し、地域での研究を進めながら国東半島宇佐地域のGIAHS認定を果たしました。そして、国東半島宇佐地域がGIAHSに認定されたのが2013年なので、今年で10周年を迎えます。

大分県唯一のGIAHS
国東半島



前回、大分県で唯一GIAHS認定されている地域は国東半島宇佐地域です。国東半島宇佐地域GIAHS（以下、「国東GIAHS」と称する）の鍵となるのが「ため池」です。



国東半島宇佐地域世界農業遺産

雨水をため池に集め、必要な時に放水できるようなシステムを確立し、安定的な農業を行ってきました

国東半島は短い谷が多く平地が少ない地域のため、雨が降っても水がすぐに海へと流れていってしまいます。従って、昔の人々は雨水を貯水するためにため池をつくり、水が足りなくなると、ため池から水田や畑に放水する仕組みを確立させました。



© Kunisaki Peninsula Usa GIAHS.



高いことから、栄養素の高いクヌギが植えられてきました。そして、クヌギは伐採しても約15年後に再生するというメリットもあります。

GIAHSを通じたSDGsの達成



国東GIAHSを理解する上で最も重要な点は「自然循環」です。雨が降った際にクヌギからの栄養素が水路や河川を通り田畑に流れることでお米や野菜が元気に育ちます。

また、海まで流れた栄養分は魚や貝も元気にするので。国東GIAHSの各要素が重要な役割を果たしており、地域の農業遺産システムが地域の機能性、生産性や生物多様性を維持しています。従って、国東半島宇佐地域の農業遺産システムは地域の人々の生活や農林水産業にとって重要な役割を担っているのです。

世界中の伝統的農業を営む人々の生活を支えます。また、GIAHSは地域文化や農業をブランド化することで、地域で生産される伝統的な食料システムや高品質の農業生産を促進し、より多くの利益を生み出し、地域社会に利益をもたらします。

農業遺産がなければ、SDGsについて考えることもできなければ、SDGsを達成することもできません。国東GIAHSは認定されてから10年が経つ中、地域の人々は自分たちが受け継いできた農業遺産について理解を深め、そして日常生活の中で保全しています。

これからは次世代に農業遺産を引き継ぎ、外部に国東GIAHSを発信することが重要だと思えます。この記事を通して少しでもGIAHSについて知っていただけたのであれば幸いです。今後もより多くの人にGIAHSの重要性や私たちの身近にある農業遺産システムの大切さを発信していく活動を推進していきます。



「地球に恩返し基金」に寄付をいただき、ありがとうございました

岡 久恵さん (宮城県仙台市)
小林 敦子さん (東京都豊島区)

山口 静人さん (埼玉都所沢市)
匿名1名 50音順

※ 2023年8月1日～8月31日の期間、4名の方から寄付をいただきました。



地球に恩返し運動について

私たちの生命を育ててくれる地球!! このやさしい地球に少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。皆さまのご寄附で「地球に恩返し森」に植樹ができ、銘板にあなたのお名前が刻まれます。

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の方は「ペンネーム」を明記の上「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。

NPO りすシステム
地球に恩返し森づくり事業部

地球に恩返し運動本部

連絡先: TEL.03-5215-2383



**地球に恩返し
基金振込先**

● 郵便局から振り込む場合
郵便局口座番号: 00140-7-743432
加入者: 地球に恩返し基金

● 他行からゆうちょ銀行に振込む場合
店名: 〇一九 (ゼロイチキユウ)
種目: 当座 口座番号: 0743432
加入者: 地球に恩返し基金



支部・パーティー活動記

東日本支部

▼Iさん（87才・女性）は公団住宅での一人暮らしでしたが、自宅で転倒して動けなくなっていました。セコムの生活異常センサーで、セコムが駆けつけ、自宅近くの病院に緊急搬送されました。病名は圧迫骨折でした。

数日後、りすの付き添いでリハビリ病院へ転院しました。その間Iさんの指示依頼で、冷蔵庫の整理、新聞の中止、依頼品のお届けなどを行いました。半月ほど経ったころ、病院のソーシャルワーカーより退院後自宅での生活は無理なので、施設探しをしたいとの連絡を受けました。本人、施設とりすシステムの3者で、数回電話会談を行いました。

最後の話し合いは、直接の面談ができました。地域、月額費用、申し込み金額、施設サービス内容のこだわりなどをお聞きして、希望に合い

そうな4つの施設のパンフを送り、りすが代理で、施設紹介業者と見学しました。施設責任者、利用者1人に対する対応数、場所、環境、食事、雰囲気、看護師常駐などの有無です。それぞれの施設の見学結果を伝え、Iさん希望の施設に仮申し込みを行いました。

退院前に、施設長と担当責任者が病院でIさんと面談して、病状などIさんの状態を確認して入居施設を決定しました。退院当日は、施設の車で病院から直接に施設入居しました。Iさんは、一度も施設を見ていなかったのですが、気に入ってもらえるか不安でしたが、入室すると即、大変気に入ったと話され安心しました。

今後のIさんの希望は、りすの各種イベントに参加することです。イベントで、笑顔のIさんに早くお会いできる日を楽しみにしています。



西日本支部

▼Tさん（82歳・男性）が去年施設に入居するための身元引受保証が必要なので、ケアマネジャーよりりすシステムを紹介され「総合保証パック」契約をしました。

施設に入居していましたが、8月下旬の早朝、コールセンターに「両目が見えなくなりいつもと違う状態なので施設から救急搬送される」と連絡が入りました。

搬送された病院にりすのスタッフが駆けつけたときは、眼科で診察も終わり、車いすに座って看護師さんと話をしながら待っている状態でした。Tさんに挨拶し、一緒に医師の説明を聞いたところ、眼に異常はないとのこと、介護タクシーで施設に戻りました。

しかし、施設で日頃お世話になっているヘルパーさんは「Tさんの様子が明らかに昨日と違う」といわれました。居室で昼食が出て右腕の上に伸ばすなどして所作が定まらず、自力で食事が摂れない様子でし

た。

訪問看護師が来て、バイタルチェックをすると、血圧も高く普段のTさんではなく、眼科だけの病状ではない。もう一度病院で診察を受けるよう段取りし、再度救急搬送することになり、りすのスタッフも同行しました。

朝と同じ病院の脳神経外科を受診することになり、MRI検査を受けたのですが、検査結果も出ない段階で入院が決まりました。

入院手続きも済み、19時過ぎに医師の説明で『右側頭葉の出血性脳梗塞』の診断でした。脳梗塞の発症で、両目が見えなくなったことがわかりました。

※この場合は眼球の左側が見えなくなるとのことでした。

過去にも脳出血の跡が何力所かあることも告げられ、入院中は血液をサラサラにする薬は投与出来ないが、再発の可能性もあるので点滴治療で様子見るようになりました。

現在は施設に戻るようリハビリ専門病院に転院して、リハビリに励

んでいます。

今回は病院、施設、りすとの連携がスムーズにいかなかったのですが、連携がしつかりとれていればもっと早く適切な対応が出来たかも知れないと、反省しております。

一日も早くTさんが施設に戻るようにサポートしていきます。



九州支部

▼Mさん(91歳・女性)は、21年前ご夫婦で契約され、博多公証役場で公正証書を作成されました。りすのいろいろな行事にお二人でよく参加されていきました。それから数年後、ご主人ががんが見つかり、脳梗塞を患っておられたMさんの**任意後見契約**の発動となりました。

当時入居していたホームに、私は月に1回ご主人と一緒に訪問していました。体調が良い時は、三人で外出も楽しみました。

しかしご主人は徐々に病気が進行

し、14年前に旅立たれました。

契約済みの市営霊園には、承継者となるMさんに付添い、区役所で手続きをして無事納骨を済ませました。その後、任意後見監督人と話し合い、Mさんはグループホームへ転居し10年が経過しました。

4週間毎の訪問診察時には毎回付き添っていたのですが、コロナ禍も落ち着き自室での面会も可能になりました。

しばらくしてMさんは食事・水分摂取量の低下、さらに発熱、病院への搬送となりました。面会に行きましたが、お声かけをしても意識朦朧。主治医からこれ以上の治療は難しいと説明がありました。ホームに相談すると受け入れを快諾、住み慣れたホームの自室へ戻ることができました。食欲・水分摂取量も徐々に改善しました。面会時の声かけにも反応され、にっこり笑顔も見せて下さいました。しかし数週間後、看取り介護のもと静かに旅立たれました。

書類には記載されていない唯一の相続人である娘さんに連絡しました

が拒否。墓じまいをはじめ、企画書に則り死後事務を進めているところです。

▼長崎県島原市のFさん(71歳・女性)は、2年前にりすシステムと契約し、島原公証役場で公正証書の作成を完了しました。契約に関してはいろいろ質問をされたので、事例を挙げて説明をしました。「F家の墓には入れないのでどうしたらよいか」と相談があり、納骨先は大分功德院特別納骨壇を選び契約されました。

その後、何事もなく過ごしていたのですが、6月に入院の身元保証と遺言書の書き換えをお願いしたいと、本人から連絡があり対応しました。

入院先の病院から書類を送ってもらい、記載押印後、返送しました。その時、遺言書の書き換えのお手紙も同封しました。島原公証役場の公証人をお願いして病室での出張作成も可能ですとすすめました。

それから一か月後、主治医からの病状説明を平日の午後予定していたのですが、急変の可能性もあるので

早めに面会に来て欲しいと、病院から要請があり急行しました。

到着は深夜になりました。Fさんの意識はなくバイタル、酸素など測定できない状況でした。点滴交換に來た看護師が当直医師に連絡しますと告げられ、兄夫妻にも連絡後、死亡確認となりました。

企画書の6ページ(付言事項)には、「自分が求めていたことが叶うシステムだったので入りました」と記載されておりました。現在、死後事務を進めています。



パートナー 小島 修

▼利用者さんで私の短歌の師匠、92歳の女性Kさんが所属する短歌の会、今年6月のテーマが戦争と平和。抽象的なテーマで師匠も苦戦の様子でした。

ウクライナを侵略する隣国のP大統領、それに与(くみ)するアジアの大国S主席、西側で太うそつきの

「前大統領。社会主義、共産主義、民主主義の違いはあれど、威信と恐怖、嘘や情報統制でそれぞれが個人の欲望を実現しようとしています。」

個人の欲望は似たりよつたり。自分の欲望の達成のためには、他者の権利や不幸は無視。家庭、コミュニティ、学校、部活、社会で学んだはずの自分と他者を大切にすると、心を何処かに置き忘れた上記3人。他者の不幸の上に成り立つ幸福が長続きしないことは歴史が示しています。

「天網恢恢疎（てんもうかいかい）にして漏らさず」天の網は大きすぎて粗いように見えるが、他者を不幸にする悪事を天は決して見逃さない、という意味に理解しています。

自分勝手な親、その子ども、そのまた子どもがどんな人間になるか容易に想像が付きまします。全世界で幼児から、自分と他者を大切にしている教育を始めましょう。それを3世代続けましょう。「人間に生まれたから人間になるのではありません。人間としての教育を受けるから人間になるのです」という著名な作家の言葉があります。

ピカソが戦争反対を強烈に描いた大作ゲルニカ。ピカソがいなくても、80億人が戦争反対と声を合わせれば戦争は無くなりません。師匠に遠く及ばず抽象的な短歌になりました。

戦争と 白き鳩描(か)く
ピカソこそ
今甦れゲルニカを手に

今甦れゲルニカを手に

*スペイン北部バスク地方の都市ゲルニカ。スペイン内戦時の1937年、共和国側の拠点都市ゲルニカに対し、反乱軍のフランコ將軍の要請でドイツ空軍が行った無差別爆撃

*白き鳩：平和の象徴



重いテーマの箸休めに、3番目の孫への気持ちです。

小六の 孫娘にも 反抗期

色白照れ屋が ひどい言葉を

編集後記

なんとか生き延びました。酷暑に耐えた今夏。やっと息ができておもうと思ったら、秋風とともに漠然とした不調が来ました。

全く捉え所のないこの感じ……更年期はとつとつに過ぎたしなあ。よし！頑張って気持ちを上げるぞ！

その前にとりあえず、怠ける。頑張らないで怠ける……頑張るのは明日からにする。皆さま、季節の変わり目、ご自愛下さい。

（芳賀まお）
ゆつくり休み休み今年残り3カ月を無事に過ごせるようお願いしています。

（芳賀みゆき）
なかなか涼しさが訪れない。秋の季節はもうなくなるのか……道端には曼珠沙華が咲いて、栗のイガが転がっているのに、まだ汗ばむほどの残暑です。街路樹は色づく前に枯れ始めています。季節の変わり目、体調を崩す人が多いです。

（東本優子）
なにかとイライラして来た。設置完了。するとなにかとイライラしていた子どもたちが、不思議な暑さ、人の心にも悪影響を与えるのか……。

NPO りすシステム

0120-889-443

りすセンター・新木場

0120-373-959